

実寸法師 Ver9.0 新機能概要

1ファイル1GB

Windows 11に正式対応し、64bit版での動作可能な1ファイルの容量が64MBから1GBに拡張しました。
容量不足で開くことができなかった他CADファイルも、読み込むことが可能になります。

32bit版の場合、動作可能な1ファイルの容量は従来通り64MBまでになります。

パソコンのメモリー容量により、同時に読み込める枚数が制限される場合があります。

拡張色追加

実寸法師で使用できる色が16色から拡張しました。

[条件/色:その他の色]から拡張色を追加・設定できます。

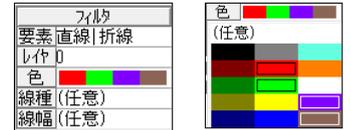
一部、拡張色未対応の機能では、代替色が使用されます。

印刷 - 基本設定で、従来の「基本色」の他に、図面内で使用している色のみ表示する「使用色」、登録した拡張色を含めた「パレット」の設定が追加されました。



複数フィルタ

要素選択時のフィルタ各項目の属性を複数選択し、設定できるようになりました。
これにより、例えば「図面内から、色が赤と緑の要素だけを範囲選択する」ことができます。



高解像度表示/タッチスクリーン対応

高解像度表示に対応し、Windowsのディスプレイ拡大率に連動して、実寸法師も拡大表示する設定を追加しました。

Windowsタッチ操作による画面スクロール・画面拡大縮小操作に対応しました。

DXF/DWG入出力

最新形式【AC1032】のDXF/DWGデータ入力が可能になりました。

読み込み可能なAutoCADバージョンは2018年形式(2018-2025)です。

将来アップデートされるバージョンは含みません。

DXF/DWG入力

「マルチテキストをライブラリを使って分解する」設定が追加しました。

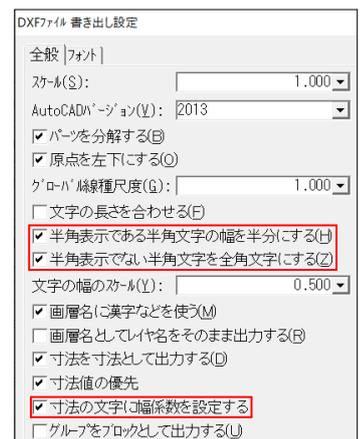
DXF/DWGを読み込んだ際に文字化けや文字位置がずれる不具合が改善されます。

MS明朝・MSゴシックフォントの場合、そのフォントとして読み込みできるようになりました。

DXF/DWG出力

半角文字に対して、出力時にプロパティを変更する設定を追加しました。

「寸法の文字に幅係数を設定する」設定を追加し、寸法文字を作図した幅のまま出力できるようになりました。



JWW入出力

JWW入力時、「Jw_cad側の色の設定を反映させる」設定、「色変換設定」が追加され、変換後の色をより再現しやすくなりました。

JWW出力時、「色」・「線種」の設定を追加しました。

「背景色を合わせる」設定を追加し、元の背景色を反映できるようになりました。

MS明朝・MSゴシックの場合、作図フォントを反映できるようになりました。

印刷・PDFファイル出力

「情報を印刷」を有効にすると、指定するフォント・サイズで印刷日時やファイル名を印刷できます。

実寸法師の設定

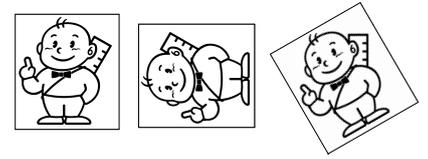
表示

「OLEオブジェクトを回転表示する」を有効にすることで、読み込んだ写真を回転させることができます。

「半角フォントで全角表示」

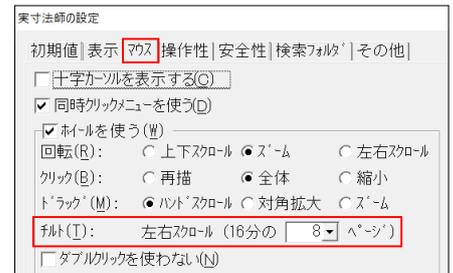
「1バイト文字を半角表示」offの時、半角フォントを使用して半角文字列を表示します(通常全角フォントを使用)

チェックON 1バイト半角表示 off OFF 1バイト半角表示 off



マウス

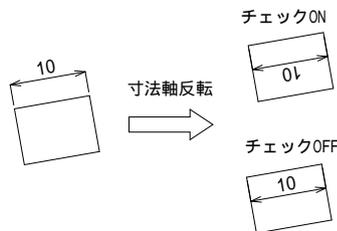
チルトホイール(水平スクロール)に対応し、「チルト」設定を追加しました。



その他

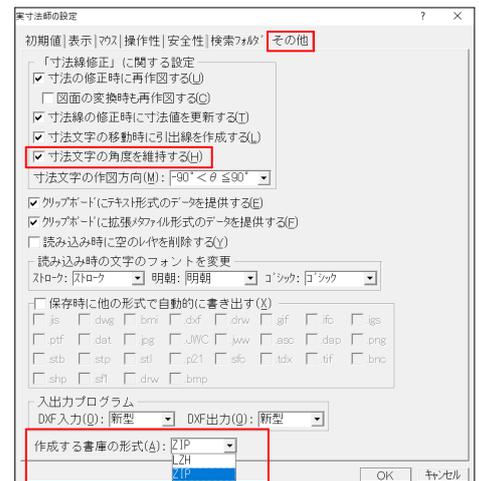
「寸法文字の角度を維持する」設定を追加しました。

有効の場合、寸法の作図条件や寸法文字の作図方向の設定にかかわらず、寸法文字を回転または反転した場合に、角度を維持したまま移動させます。



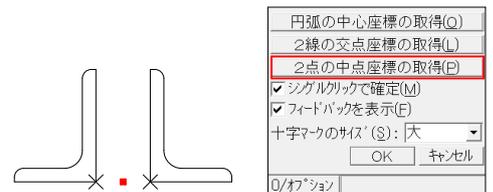
ファイルの圧縮形式

実寸法師の設定-その他 「作成する書庫の形式」の設定に「ZIP」を追加しました。書庫を作成する際、LZH形式またはZIP形式を選択できます。



2点の中点座標の取得

ポイント指定のオプションに、「2点の中点座標の取得」を追加しました。2点を選択すると、自動で中点座標を取得します。



要素選択

「グループ内の要素全てをフィルタでチェックする」

今まで(無効)の場合、グループの一部でも該当する場合はグループで選択されていましたが、これを有効にすると、「グループ優先」のチェックに関係なく、該当する要素のみ選択されるようになります。

検索-重複線の設定条件に「精度」を追加し、誤差の範囲を設定できるようになりました。精度範囲内でずれた要素も重複線として検索可能です。

文字-一覧-全要素/選択要素

図面内（全要素）または指定した範囲内（選択要素）にある文字を一覧し、属性ごとに絞り込み検索できます。一覧から選択した文字列は、ジャンプで中央表示、一括して変換、置換、集計などを行うことができます。

ジャンプ ... 選択文字を中央に表示（拡大はしません）

書出 ... 文字列をCSV等のテキストファイルに出力

修正 ... テキスト(文字の内容)を変更

回転 ... 位置はそのまま回転

サイズ ... 文字のサイズを変更

置換 ... 検索文字を置換文字に一括で置き換え

変換 ... 大文字/小文字、全角/半角を相互に変換

変更 ... プロパティ(レイヤ、色など)を変更

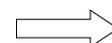
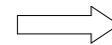
削除 ... 選択した文字を削除

集計 ... 文字列毎の数を集計し、結果を出力or作表

装飾 ... 選択した文字に装飾を付加



テキスト出力
(csv, txt, k3)

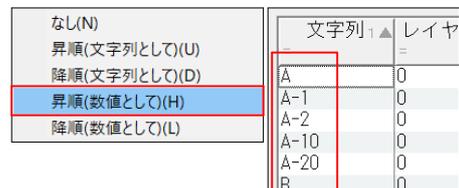


作表

文字列	件数
1200	24
7500	2
C1	7
G2	6
合計	39

一覧ウィンドウ

[文字-一覧] や [セル-カード-検索] などの、一覧ウィンドウの項目名の右クリックメニューに「整列」を追加し、「文字列として」、「数値として」の昇順や降順で並び替えできるようになりました。



変更-文字-置換

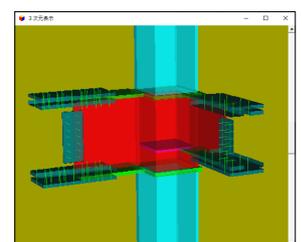
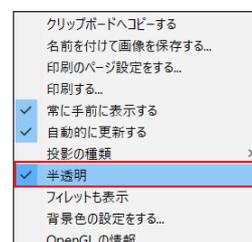
置換設定を一覧に追加することができ、複数の置換を同時に実行できるようになりました。

置換設定に「連番」が追加され、該当文字を、作図した順番で置換します。

置換例	検索文字	検索方法	置換文字
10 10枚	空白	末尾一致/正規表現off 文字列全体を置換するoff	枚
G1 (G1)	(.+)	完全一致/正規表現on	(\$1)
(G1) G1	¥((.+))¥	完全一致/正規表現on	\$1
G1 G1-1 G1 G1-2 G1 G1-3	G1	完全一致 連番on	G1-1

3次元表示

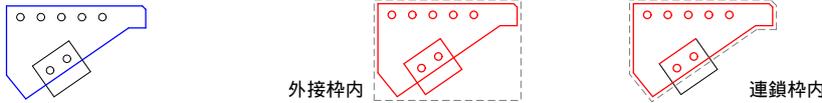
3次元表示のコンテキストメニュー（画面右クリックで表示）に「半透明」の項目を追加しました。



部品

部品-グループ-複数一括

外周の色を設定し、その外周に含まれる要素を、それぞれ個別にグループ化します。



条件	
外周	[色]
範囲	外接枠内
	外接枠内
	連鎖枠内

部品-記号-板逃

詳細設定に以下の項目を追加しました。

文字...文字の作図位置を「センター」または「引出」から選択できます。

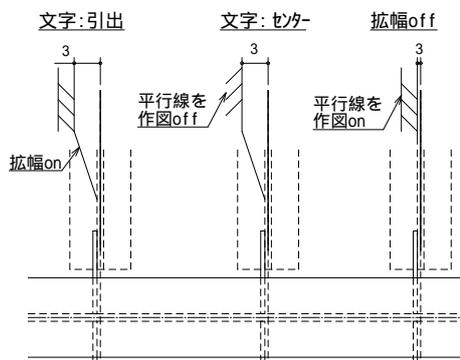
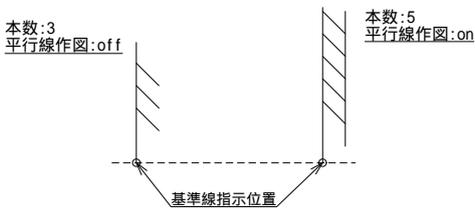
拡幅...寸法線の幅を設定します。

斜線...[作図] タイプが「三角」または「矢印」の時、斜線を作図します。

[平行線を作図] 斜線の上に平行線を作図します。

部品-記号-板逃斜線

条件で設定したサイズ、方向、傾斜、本数の板逃げ記号の斜線を作成します。



部品-要素置換-パーツ化

選択した要素と同一形状の図形を一括してパーツに置換します。パーツとして作成していなくても、後から同一の形状の図形をパーツ化できるので、編集作業効率が向上します。

部材リスト 「形鋼」または「鉄骨」オプション所有の場合のみ

部材リストの表示方法を変更しました。部材名や鋼材名などの全ての項目で絞り込み検索できます。



実形ネ스팅 「実形ネスト」オプション所有の場合のみ

配置条件の回転設定に「ひげ付きは回転/反転禁止」、「回転許可 最小幅」の設定を追加しました。

「配置方式」の設定を「配置順」ページに変更し、項目を追加しました。

